

Business Gallery

第203回

(株)ハッピースマイル

—— 写真に新たな可能性を！


 代表取締役
佐藤 堅一 社長

「写真に新たな可能性を」。これを経営理念とするのが、今回紹介する(株)ハッピースマイル。写真の代行販売などを行う設立3年の若い会社だが、ユニークなビジネスモデルが各方面より評価を得て、今やメディアに取り上げられることも多く、知名度も急上昇中である。

代表の佐藤堅一社長は自衛隊出身という異色の経歴の持ち主。締まった体つきとは対照的にやさしい語り口で創業時を振り返る。「社会貢献度の高い仕事がしたくて自衛隊に。ただ、その後ビジネスへの気持ちが高まり、好きだった写真を使って何かを！ と思いました」。いろんなジャンル(の写真)をやってみたが、一番楽しく、清々しい気分になったのが「子供」であったという。「大人と違って子供は素直で自然体。愛想笑いもしないし、空気も読みませんから(笑)」と微笑む佐藤社長。

現在、写真の代行販売、スタジオ運営、カメラマン派遣が事業の3本柱だが、主力は代行販売で保育園、幼稚園にほぼ特化した営業展開。そう、撮影対象は可愛い子供達である。園内において保育士が子供達の様子をカメラで撮るといのはよくある話。保護者がその写真を購入する場合、今まではそれを園内に掲示して選んでもらっていたが、当社はその写真データをサイト「みんなのおもいで.com」上で公開。保護者はそれを見て買いたい写真を選び、当社はそれを受け販売、現像を保育園等に代わって行うというシステムである。

園内で保護者が選ぶものだと、それらをまと

めたりする保育士の作業が結構な手間に。さらに、ちょっとした選び間違いで欲しい写真が手に入らなかったなど、意外にトラブルは多いとのこと。当社のシステムを利用すれば、保育士らの負担軽減につながるほか、選ぶ保護者も見たい時に見て気軽に注文ができる。こうした園側、保護者側双方にメリットのある当社のシステムは広く支持を受け、「特に営業せず、サイトを作っただけで問い合わせがたくさん来ました」(社長)というように、今では1000近くまで契約件数が伸びてきたという。

「入園式、卒園式などのイベント以上に、保護者が見たいのは子供たちの普段の様子。『泣いていないかな?』『ちゃんとご飯を食べているかな?』など」(社長)。思い出とともに“安心”を届けられるのが写真というわけだ。特化してきただけに保育園への営業ノウハウは他社との差別化のうえで大きな武器になっている。今後とも全国展開を進め、「多くの保育士が子供達とふれあう時間を確保できるよう、お手伝いしたい」と佐藤社長は話す。

企業概要

(株)ハッピースマイル

企業コード：552006257

所在地：さいたま市西区指扇1753

代表者：佐藤 堅一氏

設立：2012年(平成24年)4月

売上高：約1億円(2015年3月期見込み)